

■ 一般目標 (GIO)

わが国は超高齢社会を迎え、社会生活に関連する全ての分野での対応、口腔の健康維持増進についての重要性が高まっている。このような背景のもとに、歯科衛生士の視点から高齡者歯科学について専門的な知識、技術、態度を修得する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 高齡社会は何か説明できる。
- ・ 高齡者の関連法規について説明できる。
- ・ 高齡者の身体機能の老化について説明できる。
- ・ 高齡者に対する口腔健康管理について説明できる。
- ・ 高齡者に多い全身疾患・口腔疾患について説明できる。
- ・ 高齡者の栄養状態で留意する点について説明できる。
- ・ 高齡者の薬剤服用の留意点について説明できる。
- ・ 周術期、急性期高齡者における口腔健康管理について説明できる。
- ・ 高齡者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき点を説明できる。

■ 教科書：歯科衛生学シリーズ 高齡者歯科学(医歯薬出版)
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
第2版 (医歯薬出版)

■ 参考書：歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版
(医歯薬出版)

■ 授業時間：水曜日 13:00～16:50 (1) 15:00～16:50 (2)
木曜日 15:00～16:50 (3)

■ オフィスアワー：中澤 広美 (nakazawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)
月曜日～金曜日 9:00～17:00

■ 授業の方法：・ 講義：教科書とレジュメを中心に、プロジェクターを利用し進める。
・ グループワークおよびグループディスカッション
・ 実習：高齡者を想定して行う。

■ 準備学習・ 事前に教科書、参考書を読み講義内容を予習しておくこと。
準備学習時間：復習では教科書、プリントを合わせ、理解を深めること。

■ 成績評価方法：定期試験(80%)、課題(10%)、学ぶ姿勢(10%)を総合的評価

■ 注意事項：歯科衛生士として必要なことは何か常に探究すること。
グループワークはチーム力を大事に積極的に討論すること。

■ 実務経験：中澤 広美：大学病院、総合病院、高齡者福祉施設、児童福祉施設での勤務経験を基に、社会のニーズを取り入れた学べる場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月7日(火) 5限 中澤 広美	高齢者について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者像についてグループディスカッションができる。 ・ 加齢に伴う身体的変化について説明できる。
第2・3回(2) 4月10日 (金) 7.8限 中澤 広美	高齢者とは 高齢者歯科学とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の年齢基準, 特徴, 取り巻く環境を説明できる。 ・ 高齢者歯科における歯科衛生士の役割を説明できる。
第4・5回(3) 4月23日 中澤 広美	高齢者の口腔領域の加齢変化 口腔領域の疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢が口腔領域に及ぼす影響や口腔の構造と機能を説明できる。 ・ 高齢者に多い口腔領域の疾患を列挙できる。
	高齢者における口腔清掃方法について I	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔健康管理の定義・意義・留意点について説明できる。 ・ 高齢者に対する日常の口腔衛生管理について説明できる ・ 口腔健康管理に関わる職種と業務内容について説明できる。 ・ 要介護高齢者に対する口腔衛生管理について説明できる。 ・ オーラルケア用品の使用目的が説明できる。
第6回 5月7日(木) 5限 中澤 広美	高齢者を支える保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者の口腔健康管理とQOLの向上との関係について説明できる。 ・ 高齢者を支える保健・医療・福祉について説明できる。
第7・8・9回(2) 5月20日 中澤 広美	高齢者に多い疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に多い疾患の特徴を説明できる。 ・ プレゼンテーションができる。
第10・11回(2) 6月3日 中澤 広美	高齢者における口腔清掃方法について II	<ul style="list-style-type: none"> ・ デンチャーの構造について説明ができる。 ・ 残存歯および口腔内口腔衛生管理について述べられる。
第12・13・14回 6月8日(月) 3.5.6限 中澤 広美	高齢者の生活機能評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者のADL・QOL(QOD)について説明できる。 ・ 高齢者のADL・QOL(QOD)の

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	認知症	評価方法を説明できる。 ・介護者の評価方法を説明できる。 ・認知症の特徴を説明できる。 ・認知症の人への接し方を説明できる。
第15・16・17回(1) 6月10日 中澤 広美	摂食・嚥下機能 老年期の食事形態と 食事摂取への影響	・摂食・嚥下機能と食物形態について説明できる。 ・老年期の食事摂取への老化の影響を説明できる。
第18・19・20・21回 6月15日(月) 3限 6月17日(2) 中澤 広美	要介護高齢者への摂食嚥下リハビリテーション概要	・要介護高齢者の摂食嚥下リハビリテーションの概要について説明できる。 ・摂食・嚥下機能訓練が実施できる。
	車椅子操作概要	・車椅子各部名称と機能を説明できる。 ・車椅子の移乗ポイントが説明できる。
第22・23・24・25回 (2) 6月24日 中澤 広美	周術期の高齢者への 口腔健康管理	・周術期や急性期患者への口腔管理の目的を説明できる。 ・周術期や急性期患者に起こりうる口腔合併症について説明できる。 ・周術期や急性期患者の対する歯科衛生士の役割について説明できる。
	咽頭吸引実習について	・人口呼吸器、酸素マスク装着患者の口腔衛生管理について説明できる。 ・歯科衛生士として咽頭吸引を行う行為の概要が説明できる。
第26・27・28回(2) 7月8日 中澤 広美	高齢者と薬剤 経管栄養	・高齢者の注意する薬剤について説明できる。 ・薬剤と疾患の関連性を説明できる。 ・経管栄養の種類と目的を説明できる。 ・経管栄養の管理と指導について説明できる。